

# 水環境のランドスケープデザイン

## —ドイツのエコロジカル都市デザイン思考

講師：ディーターグラウ（アトリエ・ドライザイテル社 副代表）

コーディネーター：福岡孝則（アトリエ・ドライザイテル社）

日時：2011年9月29日（木） 16:30～18:00

会場：東京農業大学世田谷キャンパス・18号館1階 1811教室

東京都世田谷区桜ヶ丘1-1-1 キャンパスURL：<http://www.nodai.ac.jp/>

主催：東京農業大学大学院造園学専攻・東京農業大学緑友会

共催：東京農業大学造園科学科

後援：（社）日本造園学会、IFLA JAPAN

使用言語：英語・日本語（適宜通訳予定） 参加費無料（東京農大和田クレドール基金協力事業）

造園 CPD 認定プログラム

■お問合せ：東京農業大学大学院造園学専攻（鈴木）電話 03-5477-2430 [makoto@nodai.ac.jp](mailto:makoto@nodai.ac.jp)

エコロジカル思想は世界の環境デザインの主流である。しかし、この思想、思考をいかにクリエイティブな環境として創作すべきか？世界のランドスケープアーキテクトが過去10数年にわたり、チャレンジしてきた課題であった。

アートとしてのランドスケープデザイン、エコロジカルなランドスケープデザインのはざまにあり、クリエイティブな作品を世に問うてきたのは、環境における「水」に着目したプランニング、デザイン展開をしてきた、ドイツのATELIER DREISEITLであった。ミニマリズムやランドアートのデザイン思潮に影響されたランドスケープデザインの傾向よりも、さらに強く水を強調したエコロジカルなランドスケープ作品の完成。ドイツのエコロジカル思想と都市デザイン思考の融合した作品を通じ、現代造園を展望する。

【講演概要】雨水収集、水の浄化、屋上緑化等の環境技術を、建築をはじめとした専門家らと一つの都市デザインに統合していくドライザイテル社の創造的な試みを、世界中で展開されるプロジェクトの中から紹介。今後の水や環境技術の都市デザインへの展開の方向性を探る。

【講師紹介】ヨーロッパ、北米、アジアと世界中で、水と環境から発想する都市デザインを展開するドイツ・ドライザイテル社の副代表。グラウ氏の生態的、美的、技術的な面からの総合的なアプローチとユニー

クな手法は世界中で注目を集めている。代表作にシアトルシビックスクエア、台湾テレコムパーク、ドバイビジネスパーク等。「Waterscapes」（共著）を始め出版物多数。

